

大会名 Competition	2019 TEACHERS BASKETBALL FESTIVAL				
NO.	123 B 4	Year	Month	Day	Time
場所 Place	2019年 8月 10日 14:30				
	由利本荘総合防災公園ナイスアリーナ				

一般社団法人日本社会人バスケットボール連盟
TEACHERS BASKETBALL FESTIVAL実行委員会



<男子 決勝>

チームA 福島教員A 90 ○	<table border="1"> <tr><td>23</td><td>1st</td><td>22</td></tr> <tr><td>30</td><td>2nd</td><td>17</td></tr> <tr><td>11</td><td>3rd</td><td>16</td></tr> <tr><td>26</td><td>4th</td><td>16</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	23	1st	22	30	2nd	17	11	3rd	16	26	4th	16	OT			チームB 愛知教員チーム男子 71 ●
23	1st	22															
30	2nd	17															
11	3rd	16															
26	4th	16															
OT																	

Crew Chief	谷地 温 秋田 S
Umpire 1	渡部 一樹 秋田 B
Umpire 2	長澤 允彦 秋田 B
Table officials	秋田教員 男子 チーム

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
3	/	遠藤 悠輔		2	0	1	0	1	2	×	西村 晃輔		8	0	3	2	1
4	×	佐藤 龍馬	CAP	11	1	4	0	0	33	×	橋口 功志	CAP	18	3	3	3	1
6	×	佐藤 完太		17	5	1	0	1	34	/	佐々木 一将		0	0	0	0	-
11	/	長谷川 翔		3	1	0	0	0	35	×	阿部 直道		11	0	4	3	1
12	/	川島 蓮		28	2	11	0	1	41	×	大森 幸平		17	0	6	5	4
14	/	水野 優斗		14	2	3	2	3	51	×	森田 恭平		13	1	4	2	2
22	/	小川 貴之		0	0	0	0	0	54	/	石島 敏貴		4	0	2	0	1
30	×	山口 優太郎		6	0	3	0	1	70	/	成田 雅史		0	0	0	0	1
31		熊坂 仁志		-	-	-	-	-									
33	×	森藤 章		0	0	0	0	2									
37	/	渡邊 朋也		2	0	1	0	1									
39	/	小手森 祐太		7	0	3	1	2									
42	/	五十嵐 敦至		0	0	0	0	0									
70	/	羽田 直揮		0	0	0	0	3									
78	×	安達 大晃		0	0	0	0	1									

コーチ 五十嵐 敦至
Aコーチ 遠藤 心平

コーチ 田中文康
Aコーチ 栗田千寛

合計 90 11 27 3 16

合計 71 4 22 15 11

※ ×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

男子決勝は決勝までの3試合全て100点ゲームで勝ち上がってきた福島教員Aと愛知教員チーム男子の対戦となった。福島は「ハカ」、愛知は「ライオンキングの主題歌」で士気を高めるとともに互いの健闘を祈念してゲームに入った。

第1Q、両チームともマンツーマンでスタート。第1回全日本社会人バスケットボール選手権大会優勝チームの福島に対して、愛知は#33、#41のファーストブレイク、#2のドライブ、2本の3ポイントシュートなど多彩な攻撃で得点を重ね、試合開始6分で17対9とリードする展開。対する福島は、#6のスリーポイントシュートで食いつかる。その後、福島は堅実なディフェンスで愛知の攻撃を凌ぎ、残り2分、#6のこのクォーター4本目の3ポイントシュートが決まり、逆転に成功し23対22の福島リードでこのQを終える。

第2Q、愛知は#2、#51のコンビプレーで4連続得点し、逆転に成功する。福島はメンバーを全員入れ替えるが、#12のスリーポイントシュートや1on1、#14のスリーポイントシュート、厳しいディフェンスからのファーストブレイクなどで得点を重ね、再逆転に成功。その後も着実に得点を積み重ねた福島が53対39とリードを広げて前半を終える。

第3Q、愛知は福島への厳しいディフェンスを攻略出来ず、3分間無得点の時間が続く。その間福島は#12を中心に得点を重ねる。開始3分、愛知は#41の4連続得点から攻撃のリズムを取り戻し、#51、#33の3ポイントシュートやジャンプシュートなどで得点を重ね、64対55と点差を縮めて第3Qを終了する。

第4Q、福島はディフェンスのプレッシャーを強め、相手のミス誘う。対する愛知も粘り強いディフェンスで食らいつくが、福島は勢いを完全に止めることは出来ず、徐々に点差が開き始める。福島は#12、#14が中心に得点し、90対71で福島が勝利した。敗れた愛知も厳しいディフェンスと40分間走り抜いた姿に感動した、決勝戦に相応しい好ゲームであった。